

# 尿路感染

はら泌尿器科クリニック

# 膀胱炎の症状

排尿時に痛みを起こす  
最も一般的な病気は急性膀胱炎です。

急性膀胱炎は、女性に多く、  
頻尿（おしっこが近い）

血尿（おしっこに血が混じる）  
排尿時の痛みが特徴的な症状です。

多くは排尿の終わりごろに尿道に  
不快な痛みを感じます（排尿終末時痛）

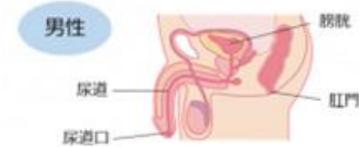


# 女性に多い理由??

女性は男性よりも尿道の出口から膀胱までの距離が短く、細菌が膀胱にたどり着きやすいため、膀胱炎を起こしやすい。

尿道カテーテルは感染の原因になりやすい。

高齢男性では前立腺肥大により尿の流れが悪くなると感染しやすくなる<sup>1</sup>。ストレスや免疫力の低下も膀胱炎の原因となります。男性は尿道が長いいため、女性よりも膀胱炎になりにくい



男性

- ・尿道の長さは約20cm
- ・尿道口と肛門との距離が長い



女性

- ・尿道の長さは約4cm
- ・尿道口と肛門との距離が短い

膀胱炎病人の男女比



(厚生労働省：患者調査より)

# 女性の膀胱炎でよく出現する症状は次の ものです。

残尿感

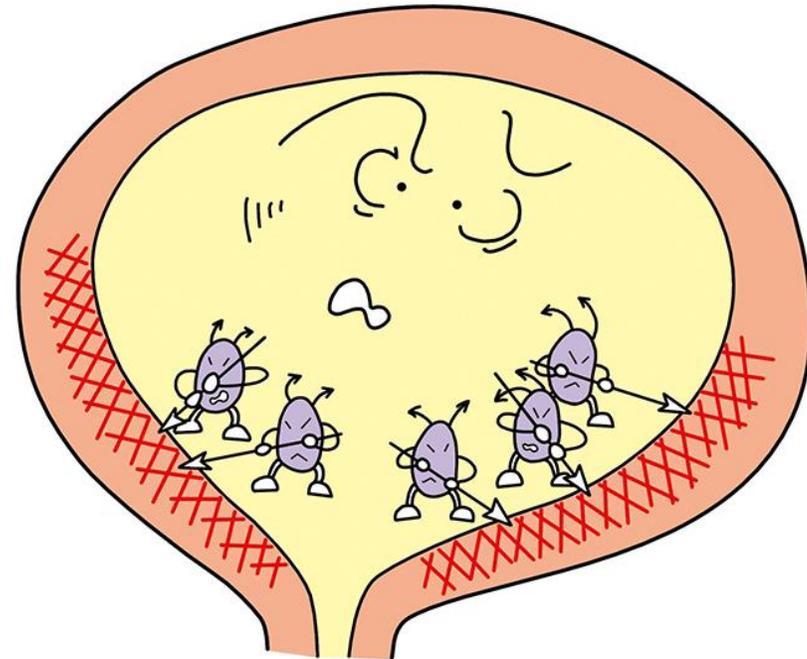
頻尿

排尿時の違和感や痛み

血尿

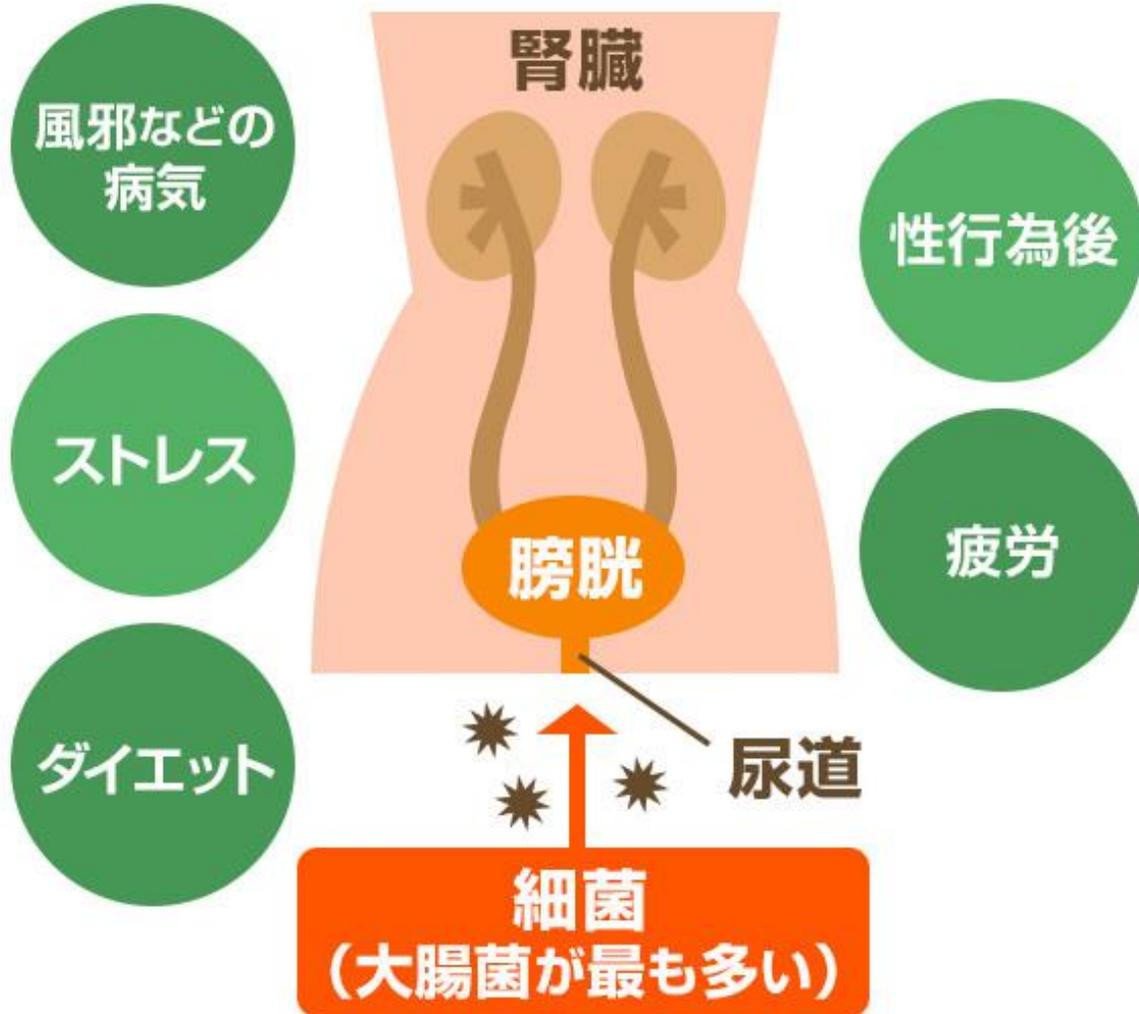
腹痛

おりものの増加



## 繰り返す膀胱炎

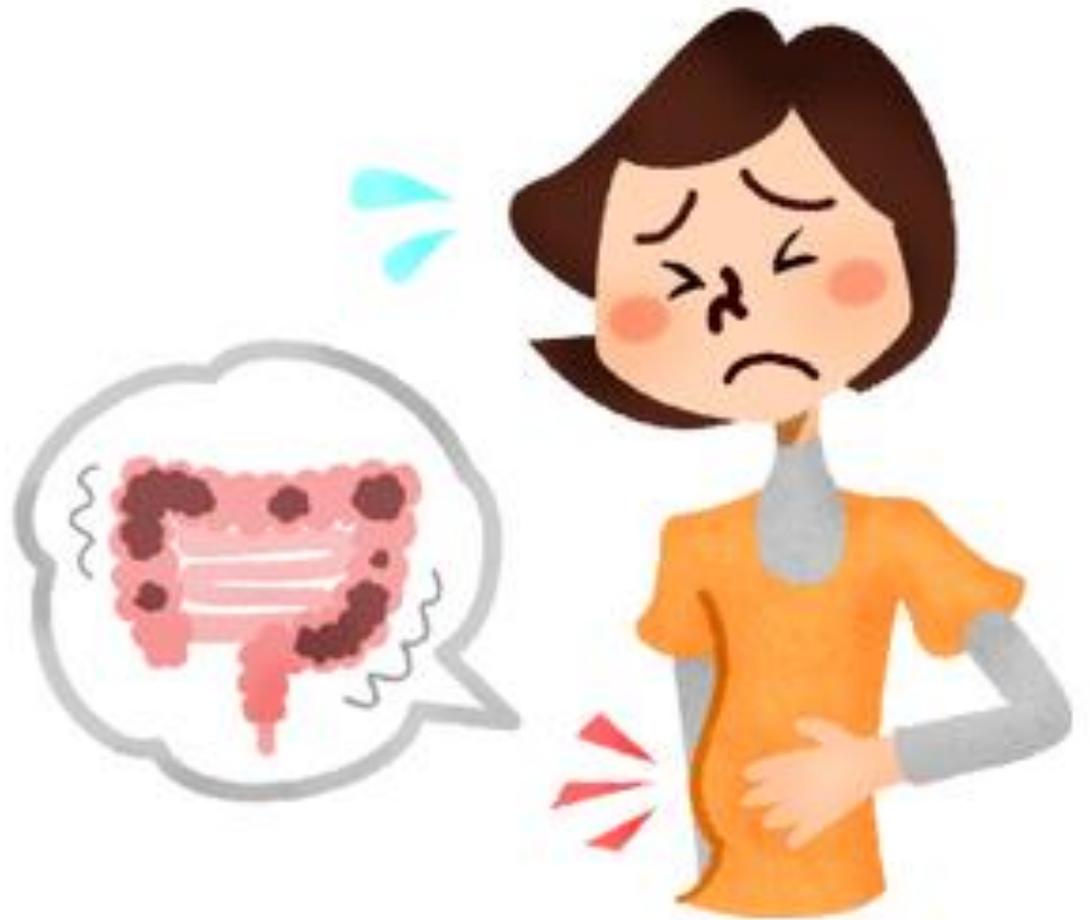
女性の尿道（膀胱から尿の出口をつなぐ道）が短いため細菌が体外から膀胱に侵入しやすいので、細菌性膀胱炎は女性に起こりやすいです。また、尿路に異常のある人や免疫力の低下している人でも起こりやすいです。治療は安易に抗菌薬を使用するのではなく、原因菌に適した抗菌薬を選んで使用することが大切です。また、細菌感染を繰り返す場合は、抗菌薬治療を行う一方で繰り返す原因を探すことも大切です。



## 便秘も原因に・・・

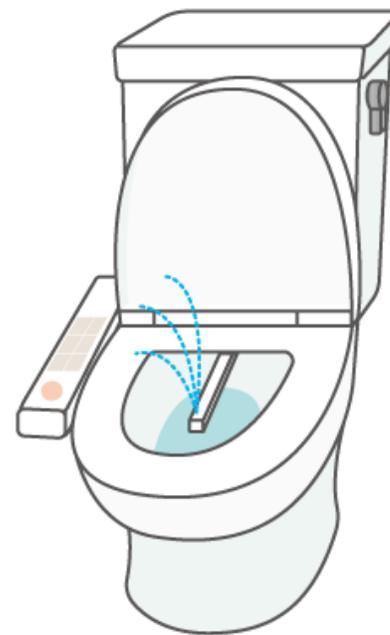
---

便秘の人は細菌性膀胱炎になりやすいです。便秘などで便通が不規則だと便中の細菌が増えることがあります。肛門周囲の細菌が多くなると膀胱に細菌が入りやすくなるため、細菌性膀胱炎になりやすくなります。



# 実はウォシュレットも??

ウォシュレットのような温水洗浄便座は肛門を清潔にしますが、肛門周囲に便を撒き散らしている側面もあります。尿道口に便が飛び散ることがあり、その際には細菌性膀胱炎の原因となるといわれています。



# 「再発性膀胱炎と温水洗浄便座の使用法との関連についての検討」

「再発性膀胱炎と温水洗浄便座の使用法との関連についての検討」という研究論文があります。

ウォシュレットの不適切な使用が再発性膀胱炎の原因の一つではないかと考え、排尿後にウォシュレットで尿道口を洗浄しているか・いないかのアンケート調査・分析がなされています。

なお、膀胱炎を繰り返す人はウォシュレットを使用していることが多いと事前に分かっています。

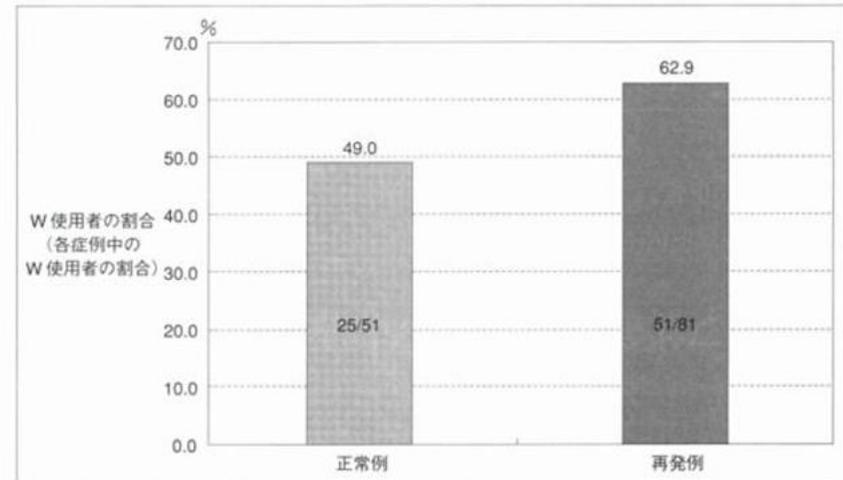


図1 正常例と再発性膀胱炎症例では、再発症例の方がWを使用する頻度が高い傾向がみられた。

# 「再発性膀胱炎と温水洗浄便座の使用法との関連についての検討」

「排便後にトイレットペーパーを使わないでウォシュレットを使用し、さらに排尿後にもウォシュレットを使用していること」を非適正使用、「排便後にトイレットペーパーを使ってさらにウォシュレットでお尻を綺麗にし、排尿後はウォシュレットを使用しないこと」を適正使用と定義しています。

分析の結果、非適性使用は適正使用に比べて4倍近くも膀胱炎を再発しやすいという結果が分かりました。

つまりウォシュレットの適正使用によって、膀胱炎の再発を避けられる可能性が大きいということです。

引用元：公平昭男『再発性膀胱炎と温水洗浄便座の使用法との関連についての検討』泌尿器外科 22 (9) 1217-1222, 2009.

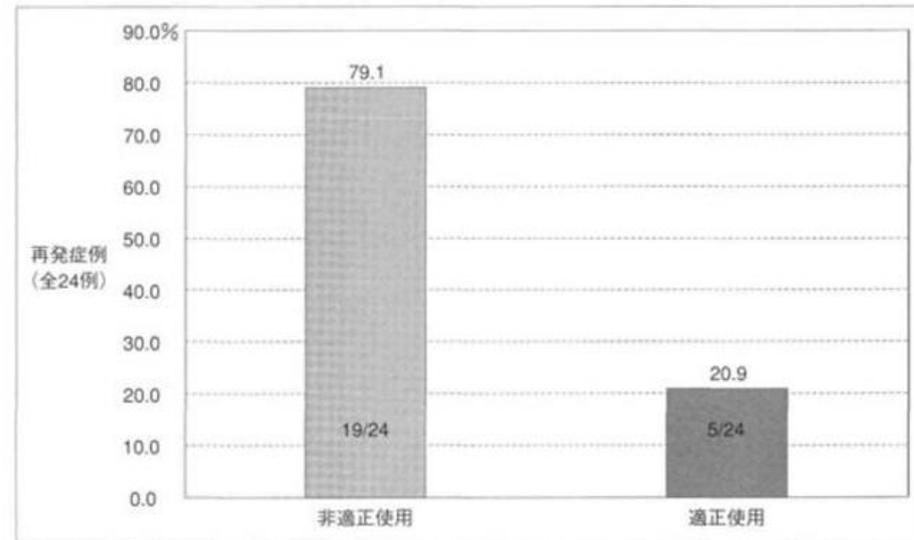


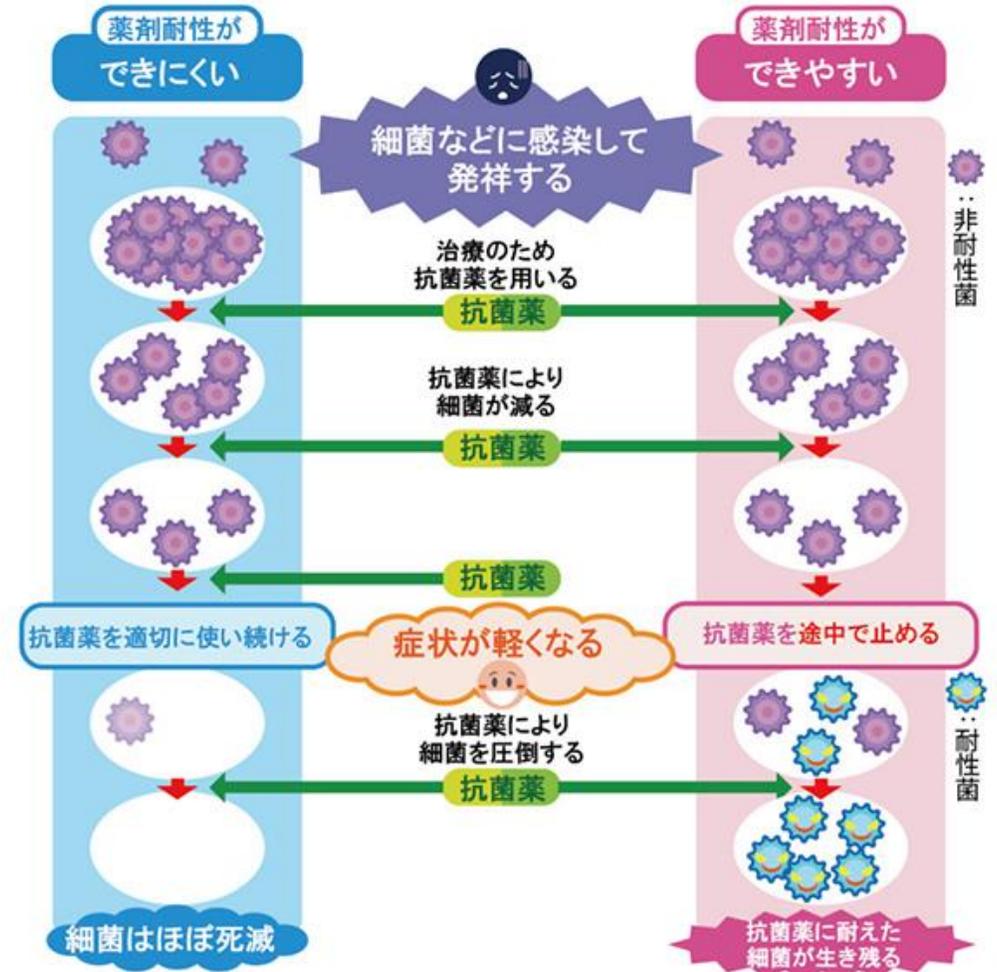
図5 再発例において非適正使用の方が適正使用例に比べ、明らかに再発する頻度が高いことが判明した。

# 抗生剤の適正使用

抗生剤を服用し始めてから通常1～2日以内に症状の改善が見られることが多く、およそ3～5日以内に治ることがほとんどです。ただし、症状が改善しても処方された抗生剤は途中でやめずに飲みきるようにしてください。

抗生剤を飲み切らないと、膀胱内から細菌が完全にいなくならず、再発する可能性があります。

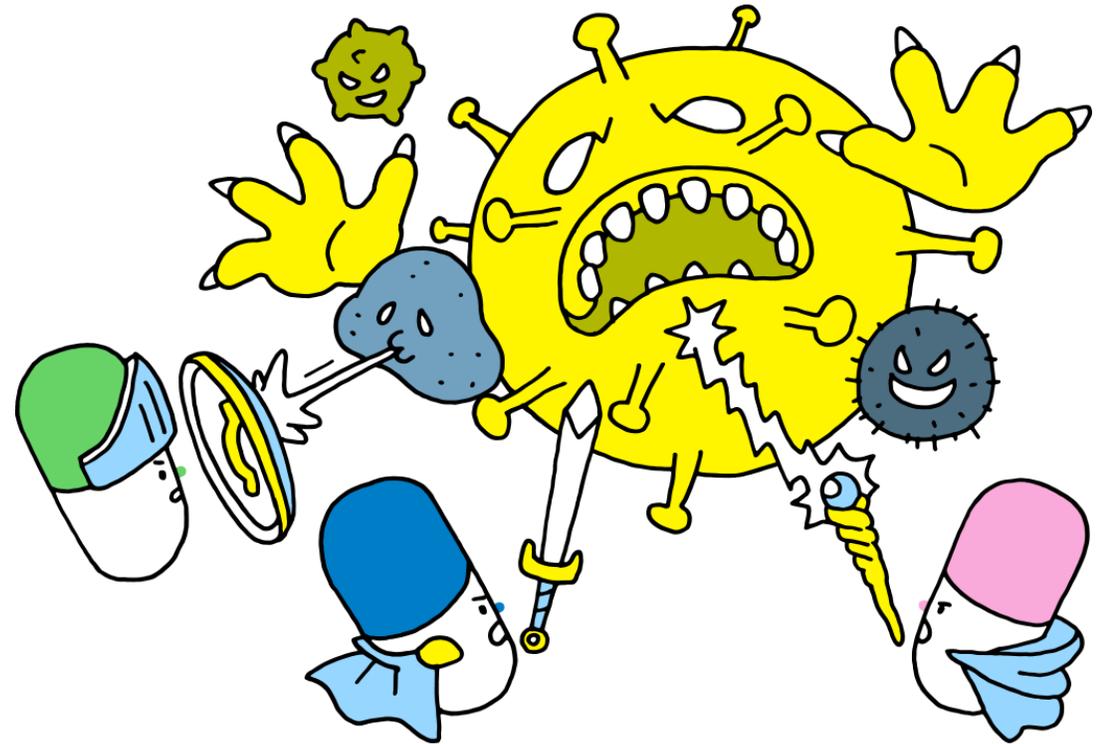
また、必ずもう一度病院を受診して膀胱炎が改善しているかを確認することも非常に重要です。



# 膀胱炎は再発予防が大切

膀胱炎は再発率が非常に高い病気です。急性膀胱炎を発症した女性の多くが治療後1年以内に再発させてしまうとも言われています。

また、処方された抗生物質をすべて飲み切らずに独断で服用を止めてしまった場合、膀胱内の原因菌を完全に死滅させられないばかりか、抗生物質に耐性を持つ菌を生んでしまい、慢性膀胱炎にまで発展してしまう危険性もあります。

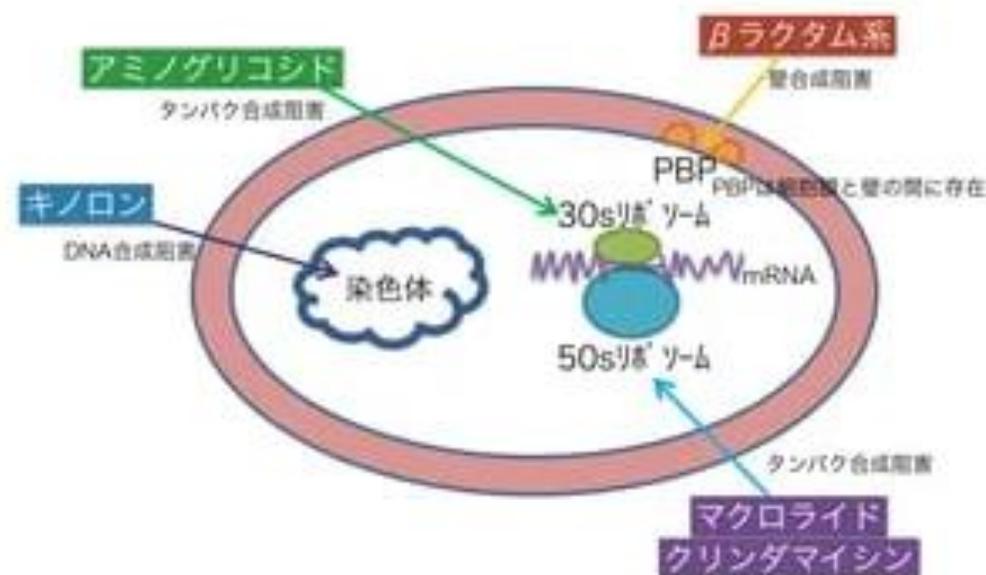


# 豆知識としての抗生剤

$\beta$ ラクタマーゼは細胞壁を阻害するため一日3回飲む必要があります

ニューキノロン系抗生剤はDNA阻害剤であり1日1回でいいのですが使用されすぎて耐性菌が検出されています.....

## 作用点の簡単な図解



# 膀胱炎を予防するために・・・

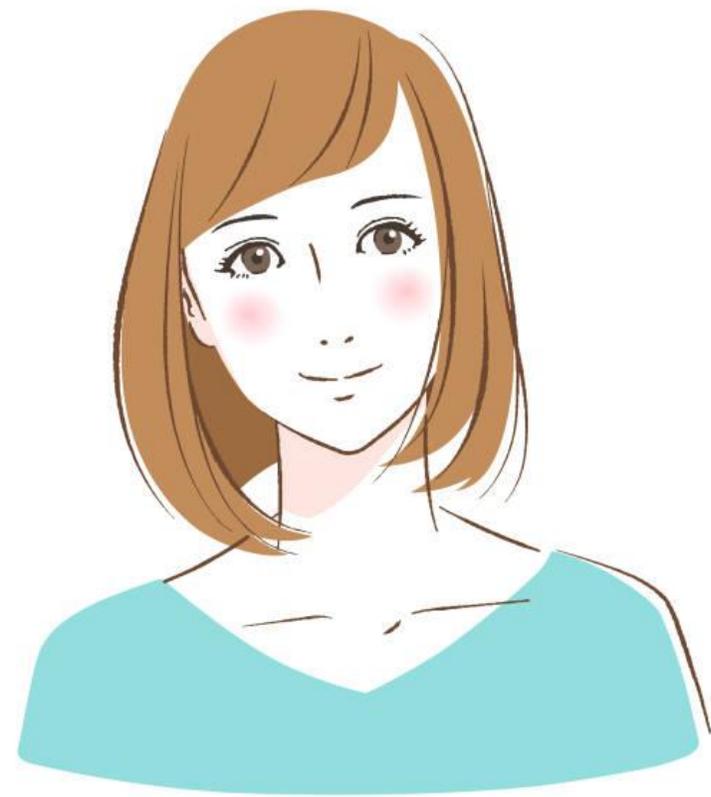
---

トイレを我慢しない  
こまめに水分を摂取しましょう。

膀胱炎の原因菌を尿道口から侵入させないことも大切です。  
女性の場合、とくに膣や肛門などの尿道付近を清潔に保ちましょう。

ストレスをためない  
カフェイン アルコールを控える

それでも膀胱炎を繰り返す場合には・・・



# 実は怖い病気も？

---

これらの症状は軽度なら正常の範囲に収まっていることも考えられます。気にしすぎて膀胱炎かもしれないと思えてしまうこともあるかもしれません。こうした症状があっても、必ずしも膀胱炎が原因とは限りません。

しかし、症状が続く場合は放置しないほうが良いです。膀胱炎を治療しないのに治ることは少ないですし、大変な病気が潜んでいることがあるからです。

